

年月	事象	lambsysとの関連性
2018年11月	KORKERDS (Coinminer.Linux.KORKERDS.AB) の出現 シェルスクリプトで動くマイナー (XMR-Stak) であり、「LD_PRELOAD」のルートキットを備える。詳細情報がテキスト共有サイト「Pastebin」に投稿された。	ソースコードの原点であり、誰でもコピー、利用できる状態にあった。
2019年2月	派生種「MALXMR」の出現 「Pastebin」から流出したKORKERDSのコードをベースとする亜種が出現した。この亜種は、本家KORKERDSのプロセスを強制停止する仕組みを持つ。	マイナー間で計算資源を巡って競い合うパターンが確立された。
2019年6月	Trojan.SH.MALXMR.UWEKB (先代) の出現 ドロップ「is.sh」を利用；アカウント「akay」と「vfinder」を削除；known_hostsファイルを用いたSSHワーム機能	今回のlambsysに最も近い先代バージョンである。「akay」と「vfinder」を削除する処理や、「is.sh」というスクリプトを用いる唯一の例に相当する。
2019年	Automキャンペーンの進行 乗っ取ったサーバ内に管理者権限 (root sudo) を持つアカウント「akay」を作成する。本攻撃は、2021年までに84回も確認された。	lambsysが削除しようとするアカウント「akay」は、Automが作成したものである。
2021年	業界のトレンド移行 古いマイナー「XMR-Stak」が廃れ、「XMRig」が主流になった。Go言語によるマイナーが 80%増加 した (Unit42の報告)。	業界のトレンドにあわせ、マイナーの開発言語もGoに傾き出した。
2021-2023年	空白の2年間 VirusTotalやURLhaus、MalwareBazaarなどのマルウェアデータベースにおいて、進化の途中にあたるサンプルが見られない。	シェルスクリプトによるMALXMRとGo言語によるlambsysの「ミッシングリンク」に相当する。
2024年5月	lambsysの初期亜種 (33588aa4...) Go言語で作られ、UPXで圧縮された初期バージョン；C&Cサーバは「94[.]156[.]64[.]241」；被害者のグローバルIPアドレスを平文のJSONデータで「/r.php」に送信	今回のLangflowを狙った攻撃が始まる22ヶ月も前の時点で、すでにGo言語への書き換えを終わらせていた。
2026年3月	lambsysの現行亜種 (71af8bd9...) ドロップ「isp.sh」を使用；アカウント「akay」と「vfinder」を削除；39種のライバルを狙った強制停止リストを導入；C&Cサーバを「83[.]142[.]209[.]214」に変更；被害者のグローバルIPに代わって「タイムスタンプ」を「/status.php」に送るなど、作戦保全面で強化	今回発見された亜種